

令和5年度事業

第2期まち・ひと・しごと創生総合

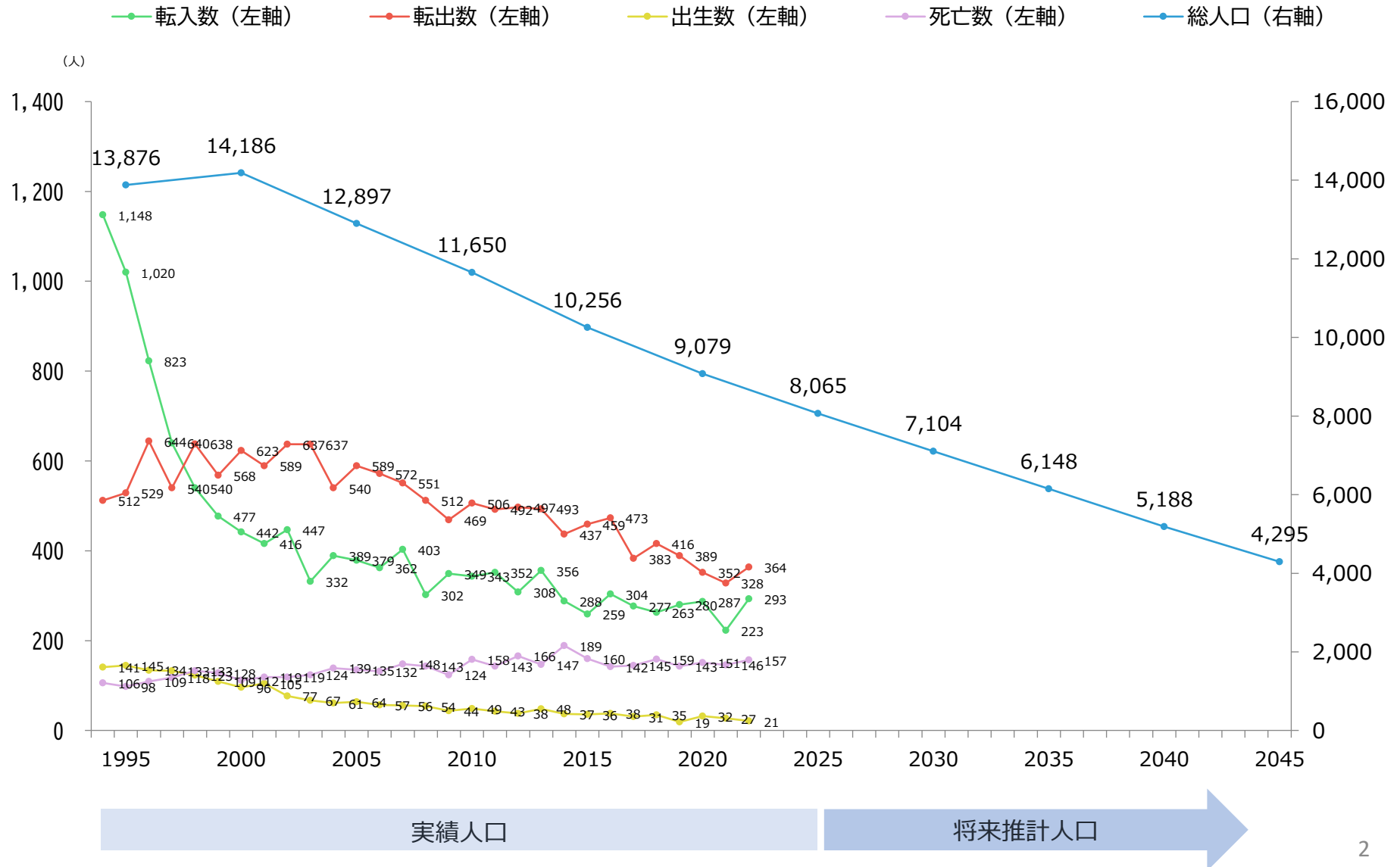
戦略にかかる効果検証

1. 数値目標の達成状況

項目	基準値	R5調査	目標値	参考 (R4調査)
<基本目標1>次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
子どもの出生数5か年の合計値	144人 (H29～R3)	115人 (R1～R5) ↓	5年間で170人	134人 (H30～R4)
<基本目標2>地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる				
転入者数5か年の合計値	1,330人 (H29年からR3年)	1,338人 (R1～R5) ↑	5か年で1,500人	1,346人 (H30～R4)
転出者数5か年の合計値	1,868人 (H29年からR3年)	1,718人 (R1～R5) ↑	5か年で1,700人	1,849人 (H30～R4)
<基本目標3> 地域資源を生かした自律的なまちをつくる				
若年層(15～39歳)の町内就業比率	37.5% (H27年)	41.3% (R2年)	5年間10ポイント上昇 (47.5%)	41.3% (R2年)
<基本目標4> 住み続けられる魅力ある地域をつくる				
要介護認定出現率	17.8% (R3年度)	17.3% ↑	17.0%	17.6%
高校や大学を卒業したあとに能勢町内に居住して、就職したいと思う人の割合	14.1% (R2年度)	R8年度調査予定	R8年度調査予定	R8年度調査予定
<基本目標5> 必要なときに情報を受発信できる仕組みをつくる				
能勢町の情報発信に対する満足度	32.0% (R2年度)	R8年度調査予定	50.0%	R8年度調査予定

(参考)出生数・死亡数／転入数・転出数

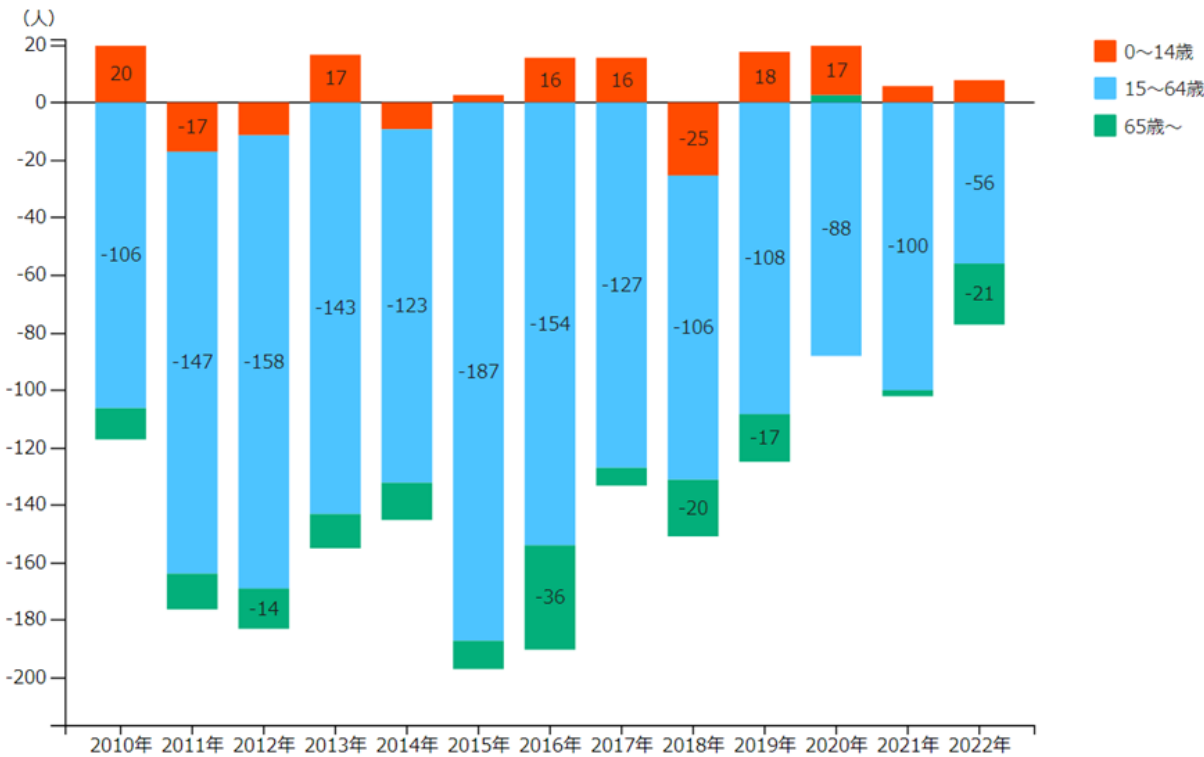
出所：地域経済分析システム（RESAS）より作成
 （総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」）



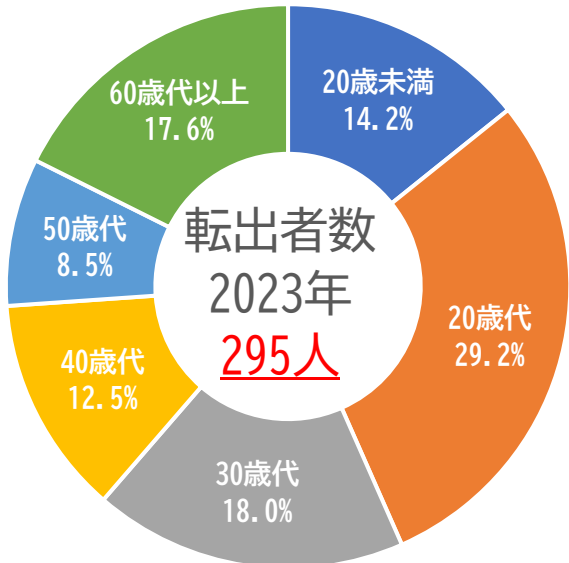
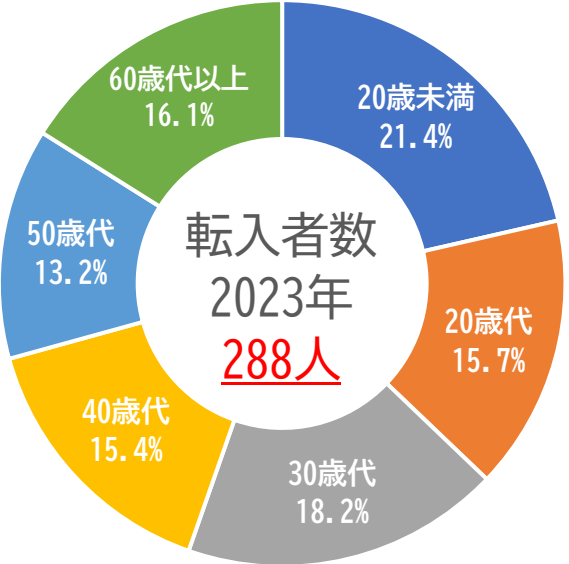
(参考)年齢階級別純移動数／年代別転入数・転出数内訳

年齢階級別純移動数

大阪府能勢町



0~14歳
15~64歳
65歳~



【出典】
総務省「住民基本台帳人口移動報告」

出所：地域経済分析システム（RESAS）より抜粋
（総務省「住民基本台帳人口移動報告」）

出所：総務省 住民基本台帳人口移動報告 年報より作成

2.KPIの達成状況

(※) A. 目標を達成済 B. 現状の取組で目標を達成する見込み C. 取組改善により達成見込 D. 達成困難

- KPIのうち、約7割が「A. 目標を達成済」または「B. 現状の取組で目標を達成する見込み」となっているが、「創業実践塾受講者数」（基本目標3）、「公共施設の延床面積」（基本目標4）、「ホームページアクセス数」（基本目標5）に関する項目では目標達成に向け、更なる取組が求められる。
- 一方、「ふるさと納税寄附件数（基本目標3・5）」が前年度実績値との比較で約2倍に伸びており目標を達成している。また、コロナ禍が落ち着き、「観光物産センター売上高（基本目標3）」、「生涯学習講座・イベントの参加者数（基本目標4）」等の改善が認められる。今後さらなる能勢ファン(関係人口)をつなぐ体験や交流、研修等の取組をすすめる。
- 特に、20歳台・30歳台の「人口」は減少する中にあるが、能勢町に愛着や親しみを感じていただける方々を増やしていけるように、地方創生の重点分野として対象に「届く」情報発信に一層取り組んでいく。

() は前年度の数値

基本目標	合計	A	B	C	D
<基本目標1> 次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8	(3)	7(4)	1(1)	
<基本目標2> 地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる	5	1(1)	3(3)	1(1)	
<基本目標3> 地域資源を生かした自律的なまちをつくる	8	1	5(7)	1	1(1)
<基本目標4> 住み続けられる魅力ある地域をつくる	9	1	4(5)	3(3)	1(1)
<基本目標5> 必要なときに情報を受発信できる仕組みをつくる	3	1(1)	1(1)	(1)	1
合 計	33	4 (12.1%)	20 (60.6%)	6 (18.2%)	3 (9.1%)

<基本目標1>次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる

重要業務業績指標（KPI）	指標名		基準値	R5調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R4調査)	特記事項
	1	将来の夢や目標を持っている後期課程の生徒の割合	同等 (R3年度)	同等	全国平均を上回る	B (A)	全国平均を上回っている	
	2	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ①（前期課程_国語）	課題がある (R3年度)	課題がある	全国平均を上回る	B (B)	課題がある	
	3	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ②（前期課程_算数）	課題がある (R3年度)	課題がある	全国平均を上回る	B (B)	同等	
	4	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ③（後期課程_国語）	同等 (R3年度)	同等	全国平均を上回る	B (B)	課題がある	
	5	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ④（後期課程_数学）	同等 (R3年度)	同等	全国平均を上回る	B (B)	課題がある	
	6	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」における肯定的回答率の全国平均との比較①（前期課程）	同等 (R3年度)	同等	全国平均を上回る	B (A)	全国平均を上回っている	
	7	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」における肯定的回答率の全国平均との比較①（後期課程）	同等 (R3年度)	同等	全国平均を上回る	B (A)	全国平均を上回っている	
	8	25-39歳の未婚率 ※結婚意思のある方の希望を実現	男70.3% 女59.8% (H27年)	男72.5% 女62.3% (R2年)	男51.2% 女36.6%	C (C)	男72.5% 女62.3% (R2年)	第16回出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所)によると、「いずれ結婚するつもり」と考える18～34歳の未婚者は、性別、年齢の違いを問わず減少（男性81.4％：前回85.7％、女性84.3％：前回89.3％）しているが、結婚意思がある方は男女とも80％を超える。

(※) A. 目標を達成済 B. 現状の取組で目標を達成する見込み C. 取組改善により達成見込 D. 達成困難 () 内はR4年度結果

<基本目標 2>地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる

重要業務業績指標（KPI）	指標名		基準値	R5調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R4調査)	特記事項
	1	誘客数	331千人 (R2年度)	365千人 (R4年度)	500千人	B (B)	321千人 (R3年度)	
	2	大学等との連携事業の件数（累計）	4件 (R3年度)	5件	15件	B (B)	5件	件数自体に増減はないが、連携事業が具体的に進んでいる。庁内で取組意義の共有を行うことで、各分野における具体的なニーズの把握や課題設定に取り組み、公民学連携事業の積極的な導入を図る。
	3	ふるさと納税寄附件数	895件 (R3年)	7,380件	2,000件	A (A)	3,725件	寄附事業者の追加、ポータルサイトの拡充などにより、大幅な増加。
	4	空き家のマッチング件数	1件・年 (R3年度)	1件・年	2件・年	C (C)	1件・年	空き家バンクについては、移住希望者に対して登録物件が不足している。空き家の所有者が安心して物件を登録できるよう運用の見直しを検討し、目標達成を目指す。
	5	提案基準を用いた開発許可・建築許可件数	12件 (H29-R3年度)	19件 (H29-R5年度)	27件	B (B)	18件 (H29-R4年度)	令和4年度は6件、令和5年度は1件

(※) A. 目標を達成済 B. 現状の取組で目標を達成する見込み C. 取組改善により達成見込 D. 達成困難 () 内はR4年度結果

<基本目標3>地域資源を生かした自律的なまちをつくる

重要業務業績指標（KPI）	指標名		基準値	R5調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R4調査)	特記事項
	1	観光物産センター売上高	4億7,709万円 (R3年度)	5億1,321万円	5億円	A (B)	4億7,999万円	新商品の開発や施設の改修に加え、安定した来店客数により、ピーク時と同等の売上（H21年:5.2億円）を達成。
	2	農業産出額	14億5,000万円 (R1年度)	12億9,000万円 (R4年度)	16億円	C (B)	14億円 (R3年度)	農業の収益性向上に向けて、農産物の高付加価値化等の取組が重要であり、（仮）農業公社や観光物産センターのリニューアル構想等の方向性を踏まえ総合的な対策につなげていく。
	3	創業実践塾受講者数（累計）	8人 (R3年度)	6人	40人	D (D)	8人	目標の達成は困難であるが、起業・スキルアップを目的に受講される方がいるため、起業支援事業の継続は必要。起業を目指す方等に必要な情報が届くよう、事業の周知に取り組む。
	4	企業誘致件数（累計）	0件 (R3年度)	0件	3件	B (B)	0件	農業系企業が令和6年度中にトマトの高度環境制御栽培施設を整備予定。
	5	「能勢版レッドリスト」の絶滅危惧種の保全	策定中 (R3年度)	策定	絶滅危惧種の保全	B (B)	312種	
	6	森林資源消費量（薪）	20,671束 (R3年度)	14,213束	30,000束	B (B)	15,047束	実績値は減少しているが、他市の森林環境譲与税の活用により里山活力創造推進事業（萌芽更新の為の伐採）の面積が広がり、薪束数も増加する見込みであり、B評価とした。
	7	域内再生可能エネルギー供給量	10,361MWh (H27年度)	14,183MWh (R4年度)	18,000MWh	B (B)	13,431MWh (R3年度)	
	8	大学等との連携事業の件数（累計） 【再掲】	4件 (R3年度)	5件	15件	B (B)	5件	件数自体に大きな増加はないが、連携事業が具体的に進んでいる。庁内で取組意義の共有を行うことで、各分野における具体的なニーズの把握や課題設定に取り組み、公民学連携事業の積極的な導入を図る。

(※) A. 目標を達成済 B. 現状の取組で目標を達成する見込み C. 取組改善により達成見込 D. 達成困難 () 内はR4年度結果

<基本目標4>住み続けられる魅力ある地域をつくる

重要業務業績指標（KPI）	指標名	基準値	R5調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R4調査)	特記事項
	1 特定健康診査の受診率	41.9% (R3年度)	40.4% (暫定値)	60.0%	C (C)	35.4% (暫定値)	特定健康診査受診者のうち年齢到達により後期高齢者医療保険に移行する方が増加し受診率の低下が予想されることから、若年層の定着化へ取組むとともに、未受診者への勧奨方策について検討する。
	2 認知症サポーターの養成数	984人 (R3年度)	1,218人	1,300人	B (B)	1,128人	コロナ禍により未実施であった、認知症サポーター養成講座を住民向け、小学生向けに開催した。
	3 地域とのつながりがあると思う人の割合	59.8% (R2年度)	—	80.0%	—	—	令和2年度に地域福祉計画の策定に当たり行った住民アンケートの数値。次回、令和7年度に実施予定。
	4 いきいき百歳体操の参加率	12.1% (R3年度)	9.5%	15.0%	C (C)	11.0%	コロナの影響もあり参加者数は全体で減少傾向にある。今後、より一層の普及啓発に努めることで新たな参加者増を目指す。また参加者の高齢化にあわせ、改めて体操の効果的な運動方法などの情報提供の場を設け介護予防につなげていく。
	5 生涯学習（スポーツ含む）講座・イベントの参加者数	985人 (R3年度)	6,240人	2,000人	A (B)	1,645人	集計の内、芸術文化祭舞台の部は、おおさかのてっぺんフェスティバルステージにて行ったことから、イベント全体の来場者数2,000人をカウントに入れている。
	6 公共交通利用者数	263人/日 (R3年度)	310人/日	360人/日	B (B)	302人/日	利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の実績まで回復していない。
	7 公共施設の延床面積	78,344㎡ (R2年度)	75,999㎡	55,000㎡	D (D)	78,802㎡	令和6年度において旧庁舎周辺整備事業により、旧庁舎を撤去予定(△1,998㎡)。また児童館(4館)も撤去予定(△851㎡)。旧小中学校施設(18,251㎡)の除却が課題。
	8 空き家のマッチング件数【再掲】	1件・年 (R3年度)	1件・年	2件・年	C (C)	1件・年	空き家バンクについては、移住希望者に対して登録物件が不足していることから、セミナーの開催や個別の相談会の一層の周知を図るもの。
	9 提案基準を用いた開発許可・建築許可件数【再掲】	12件 (H29-R3年度)	19件 (H29-R5年度)	27件	B (B)	18件 (H29-R4年度)	令和4年度は6件、令和5年度は1件
	10 地区計画策定数	0件 (R3年度)	0件	1件	B (B)	0件	

(※) A. 目標を達成済 B. 現状の取組で目標を達成する見込み C. 取組改善により達成見込 D. 達成困難 () 内はR4年度結果

<基本目標 5>必要なときに情報を受発信できる仕組みをつくる

重要業績指標(KPI)	指標名		基準値	R5調査	目標値 (R8年度)	達成 見込 (※)	参考 (R4調査)	特記事項
	1	ふるさと納税寄附件数【再掲】	895件 (R3年)	7,380件	2,000件	A (A)	3,725件	
	2	ホームページアクセス数	917千件 (R3年度)	393千件	1,350千件	D (C)	774千件	ホームページアクセス数を集計するシステムツールがホームページへの延べ訪問数の形状から、実訪問数計上へと変更したことから数値が減少した。このような経緯から目標値達成が困難とするが、より魅力的な情報発信に努める。
	3	未来技術を活用して地域課題を解決・改善した件数	0件 (R3年度)	1件	3件	B (B)	1件	ぴったりサービスの利用を開始

(※) A. 目標を達成済 B. 現状の取組で目標を達成する見込み C. 取組改善により達成見込 D. 達成困難 () 内はR4年度結果

3. 主な取組について (総合計画の7つのテーマ関連)

賑わい創出・産業の活性化

旧庁舎周辺整備

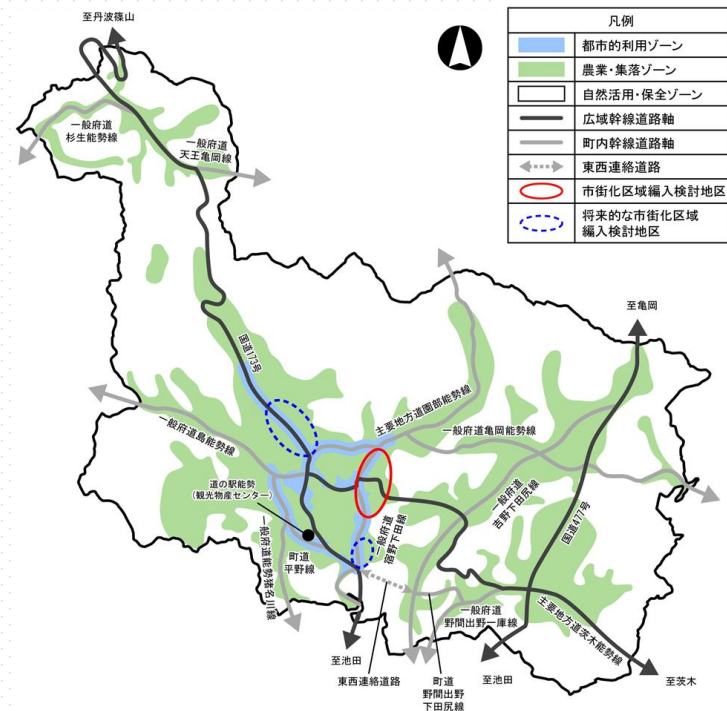
○旧庁舎跡地を「憩いの広場」として整備し、マルシェやイベント開催のための場を創出。
○旧久々小学校体育館を「生涯学習施設」として整備し、図書館やワークショップスペース等を開設予定。
(事業期間：R5年度～R8年度予定)
○令和6年度に旧庁舎解体工事を発注し、7月より解体工事を実施。



産業用地の創出

○都市近郊に位置する土地の潜在的価値を引き出すことで、地域経済の振興や活力ある暮らしの実現を目指して取組む。
令和5年度から都市計画マスタープランの改訂に着手し、都市計画審議会にて改訂原案を令和6年7月答申。

★市街化区域への編入に係る取組をすすめている★



▲能勢町都市計画マスタープランより抜粋 (R6.7月改定)
【市街地・集落整備の方針図】

新しい交通システム

地域社会の創り手を育むまち

安心して移動ができるまち

地域エネルギーで自立するまち

交通空白地の解消へ

OR6.4月から乗合タクシーの本格運行開始。
また阪急バスの代替交通である妙見口のせ
号の運行を開始。



高校生の通学対策

○東京大学や大阪大学等の専門家の支援を受け、通学対策として、E-bike(電動自転車)を導入。【実証実験：令和4～6年度】

○能勢分校生が通学で収集したデータや気づき等により得た情報等を活用して、**地域住民や行政（府・町の道路管理者等）等と連携したワークショップを実施。**

▼R5.11.20 交通ワークショップ時写真

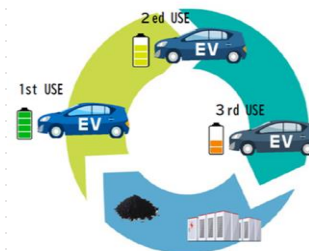
ワークショップ
写真



公用車にリユースEV導入

○公用車の特性に応じた車両導入により
経済的メリットと脱炭素化に貢献。

コンセプト



- 脱炭素化への貢献
- 循環型社会の実現
- EVの普及・促進

OR6年度実証運行に おける検討内容等

- ・心理面の課題検証
(試乗会・説明会、アンケート等実施検討)
- ・経済性比較
- ・仕様内容検討等



ゼロカーボントウン・里山の魅力

Theme04

里山を守り・生かすまち

Theme07

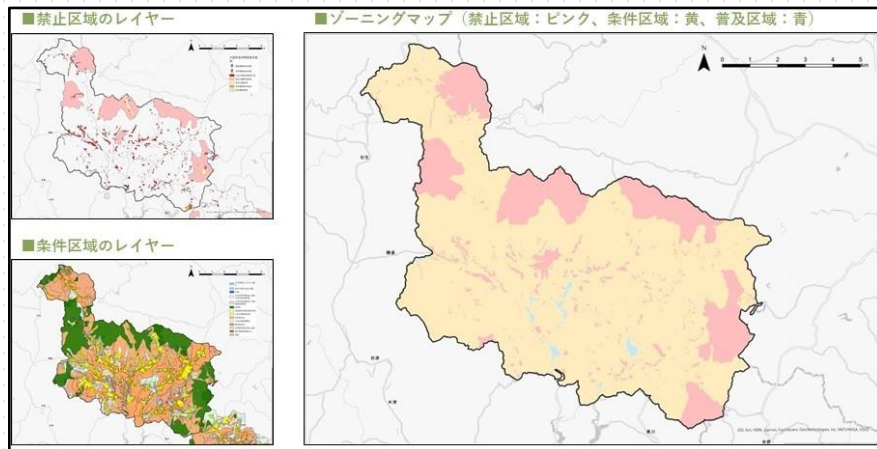
地域エネルギーで自立するまち

地域共生型の再エネ導入促進

○自然エネルギーの導入において可能性のあるエリアや保全すべきエリア等を地図化（ゾーニング）。

○ゾーニング内容等に基づき、再生可能エネルギーの導入に関する条例を制定した。（令和6年4月1日施行）

○これにより地域と共生する再生可能エネルギーの導入を適切に推進。



▲能勢町地球温暖化対策実行計画に記載を追加
（令和6年5月計画改定）

森林資源の保全と活用

○建築物等木材利用促進協定の締結（R5.12.1）
「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づく協定を締結。

○協定締結先：能勢町、吹田市、大阪府森林組合、株式会社イーコンサル、株式会社能勢・豊能まちづくり



▲より詳細な内容等につきましては能勢町ホームページをご参照ください。
(https://www.town.nose.osaka.jp/soshiki/tiikisinkouka/san-gyoshinko/nourin_shoko/9490.html)

移住支援・能勢ファンの創出

Theme04

里山を守り・生かすまち

Theme07

地域エネルギーで自立するまち

地域おこし協力隊

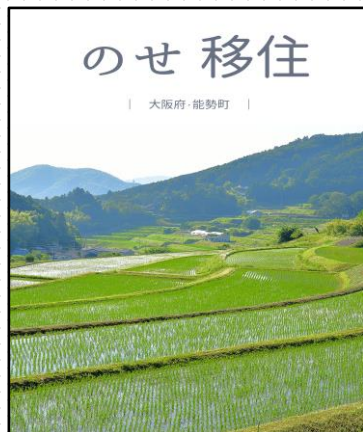
○令和6年8月現在までに**累計5名**が能勢町に移住し、地域おこし協力隊として活動している。

○令和5年度で2名の協力隊が卒隊し、それぞれのテーマで継続的な活動を展開している。

Aさん：(株)能勢・豊能まちづくりで就職

Bさん：集落支援員として活動中。

○高校魅力化・地域留学、移住・定住支援（情報発信含）、物産センターとの連携による農作物のブランディング活動等に取り組んでいる。



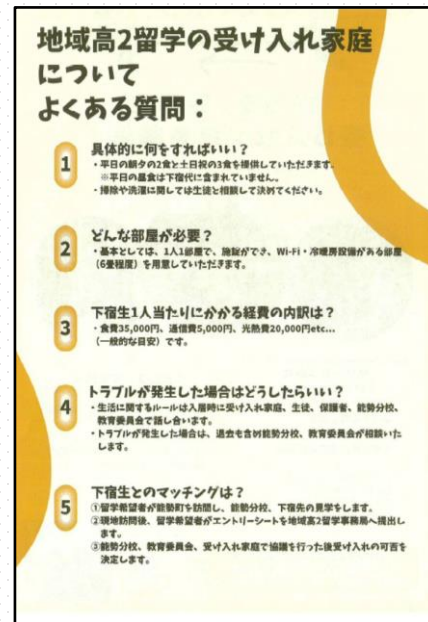
▲移住・定住、情報発信に取り組む協力隊が住民インタビューにより編集をすすめている。

高校魅力化・地域留学

○将来的な関係人口の創出・拡大を目指し、高等学校段階における「地域留学」を推進。

○大阪府内の高校生が3年間能勢分校で学ぶ体制を構築する「里山留学」の取組を継続。

○全国から高校生が集まるような高等学校(能勢分校)の魅力化に取り組む。【対象：高校2年生、1年間】



▲（高2留学生受け入れ家庭募集チラシ（教育委員会作成）